

たくさんのお手紙をありがとうございました



第10回「市長への手紙」から



広報がまごおり7月号で市民の皆さんに配布しました「市長への手紙」。8月31日までの2カ月間で143通ものお便りをいただきました。今号では、その主な内容をご紹介します。

Q 市民病院は、先生がたくさんやめてしまったたり、産婦人科がなくなるという話を耳にします。現状はどうなっていますか。

A ご承知のとおり、今日の医療現場の崩壊は、国の医療費抑制政策に端を発しています。市民病院も、昨年から大学による医師の引き上げが進み、休診や診療制限をしなければならなくなっています。

産婦人科については、派遣元の大学との関係も良好に維持されており、当面「なくなる」ということはありません。ただ、市内で分娩を扱う医療機関はほかに1カ所しかなく、市民病院に集中する傾向が見られます。医師の負担軽減と安全安心な分娩の確保、さらには市民の分娩を最優先とするため、現在分娩の受け入れを毎月40件に制限しています。

市民の皆さまに安心していただける医療の確保に今後も努力をしていきますが、市民病院もそこに勤務する医師も大切な社会資本の一つであることをご理解いただき、市民病院を守ってくださいるようお願いいたします。

Q みどり保育園が今年から民営化されましたが、あまりいい話を聞きませんが、今後、鹿島保育園も民営化されるようですが大丈夫でしょうか。

A 今年4月から市で初めて民営化されたみどり保育園については、さまざまな方から多くのご意見をいただいております。その内容については心を痛めています。しかし、給食の問題を始めとして、民営化された保育園では、すべてが公立保育園とまったく同じという訳にはいきません。解決すべき課題はありますが、保護者、保育園、市の三者が話し合いを重ね、一つひとつ解決に向けて取り組んでいますので、ご理解をいただきましたと思います。

平成22年度からの鹿島保育園の民営化につきましても、より良い法人に来ていただけるように保護者の皆さまのご意見やご要望を聞きながら進めていきたいと考えていますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。



Q 市内の道路が狭いことが気になります。特に蒲郡駅北側の道路は広くならないでしょうか。

A ご指摘の蒲郡駅北側の道路は片側1車線で整備済みであり、拡幅の予定はありません。しかし、交通量が大変多く常に渋滞している状態です。そのため、現在ジャスコ西交差点から三谷町伊与戸交差点まで、片側2車線の国道247号中央バイパス事業を行っており、完成すれば交通量は減るものと考えています。交通渋滞の緩和と、通過車両を市街地から排除して車両・歩行者・自転車の安全を確保するため、早期完成に努めているところです。

現在、市内には都市計画道路が41路線あります。その中で、国・県道を含めた道路の新設改良のため14路線・約18kmを事業化し、年度計画に合わせ整備を進めており、快適で安全な「道づくり、まちづくり」に全力を尽くしています。しかし、道路整備には用地取得までに長時間を要することや、多額の事業費が必要のため、整備率が急速に伸びないのが現状です。ご理解をいただきますよう、お願いいたします。